

みずほCustomer Desk Report 2016/06/20 号(As of 2016/06/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.73 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.77	1.1271	118.05	0.9650	1.4294	0.7393
SYD-NY High	104.84	1.1296	118.10	0.9656	1.4388	0.7411
SYD-NY Low	104.08	1.1223	116.92	0.9589	1.4200	0.7362
NY 5:00 PM	104.10	1.1278	117.38	0.9596	1.4367	0.7395
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.085/13.69		△25RR	2.765	Yen Call Over	

NY DOW	17,675.16	▲ 57.94	債券市場	日本2年債	-0.2490	2.1bp
NASDAQ	4,800.34	▲ 44.58		日本10年債	-0.1500	4.1bp
S&P	2,071.22	▲ 6.77		米国2年債	0.6927	0.7bp
日経平均	15,599.66	165.52		米国5年債	1.1128	2.2bp
TOPIX	1,250.83	9.27		米国10年債	1.6078	2.9bp
シカゴ日経先物	15,640	▲25.00		独10年債	0.0190	4.3bp
ロンドンFT	6,021.09	70.61	為替市況	英10年債	1.1440	3.4bp
DAX	9,631.36	80.89		豪10年債	2.0760	7.3bp
ハンセン指数	20,169.98	131.56		USD/CNH	6.5973	▲ 0.0004
上海総合	2,885.11	12.29	商品市況	ドルインデックス	94.21	▲0.36
USDJPY 3M Vol	11.96	▲0.42%		CRB指数	192.375	3.48
USDJPY 6M Vol	11.70	▲0.31%		NY金	1,294.800	▲3.60
EURJPY 3M Vol	14.50	▲0.51%		WTI	47.980	1.77
EURJPY 6M Vol	13.45	▲0.37%		Dubai Spot	44.15	▲0.80

東京	東京時間のドル円は104.77レベルでオープン。前日大きく下落した反動で、日経平均株価が上昇して寄り付き、その後300円超まで上げ幅を拡大する流れとなるも、ドル円の高値は104.84までと影響は限定的。前日の日銀金融政策決定会合前の水準と前日安値(103.56)を結んだ半値戻しの水準が104.70辺りであり、同水準では上値を抑えられる格好となった。午後に入り、日経平均株価が徐々に上げ幅を縮小する中、引き続きドル円の下押し圧力は強く、104.15辺りまで下落。その後は来週に英国の国民投票が予定されていることや、週末前ということで積極的な取引は控えられ、104.30辺りで揉み合い推移が続いた後、104.33レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は横ばい、104.33レベルでオープン後、目立ったニュースのない中、上下30銭の狭いレンジ内での値動きに終始、104.29レベルでNYに渡った。ユーロは方向感なく推移。1.1241レベルでオープン後、DAXを中心に欧州株が寄り付きから堅調に推移し欧州コア国金利も上昇したことを背景にユーロは買い優勢。しかし、本日はEU残留/離脱を問う英国国民投票にかかわる全てのキャンペーンが休止され、世論調査の発表も延期されていることに加え、週末ということもあり動きは非常に限定的。1.1254レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.29レベルでオープン。朝方は発表された米5月住宅着工件数が予想を上回ったものの、5月建設許可件数が予想を下回り、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的。昨日の英国での惨事を受け、残留・離脱双方のキャンペーンが中止されたことや、本日は世論調査発表が予定されていないことから、ドル円は終始104円台前半の狭いレンジ内での推移が続く。104.10レベルでクロスした。一方、ユーロは1.1254レベルでNYオープン。朝方は、軟調に寄り付いたダウが下げ幅を縮小させる動きを受け、ユーロ円が上昇する展開に、ユーロも下値をサポートされ1.1296まで上昇するが、株式市場が再び下げ幅を拡大させる展開に1.1242まで反落。午後は週末を控えた調整からじり高で推移し、1.1278レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月17日	17:00	欧 経常収支(季調済)	4月 36.2B	-
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月 1,164K/1,138K	1,150K/1,145K
	21:30	加 CPI/CPIコア(前年比)	5月 1.5%/2.1%	1.6%/2.1%

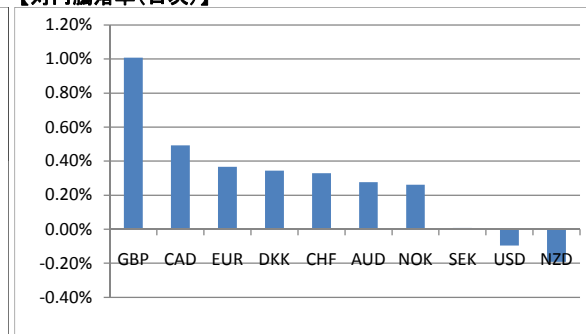
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日
6月20日	8:50	日 貿易収支	5月 ¥823.2B	¥70.0B
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/-2.9%	0.1%/-3.1%
	16:50	日 黒田日銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-105.30	1.1250-1.1400	117.50-119.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日海外時間の為替市場は、方向感の乏しい展開となった。16日に発生した英国下院議員殺害事件を受けて、英国で残留派・離脱派双方がキャンペーンを中止する中、市場では様子見ムードが強まった。また、週末を控えていたことから積極的な売買とはならず、ドル円は104円台前半、ユーロは1.12台半ばで横ばい推移した。本日は、リスクセンチメントの回復を背景にドル円は戻しを試す展開を予想する。週末には、16日の英下院議員殺害事件発生後を調査期間とする国民投票をめぐる世論調査が発表され、残留派が離脱派を上回る結果となった。これにサポートされ、ドル円・ユーロともに上値を試す展開となるだろう。但し、最終的には23日の国民投票の結果を見るまで明確な方向感は見出せないことは変わらないことから、上値は限定的となると考える。